学校番号	219

平成 31 年度　地理歴史科

教科	地歴科	科目	日本史Ｂ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「詳説日本史Ｂ　改訂版」　（山川出版社）						
副教材等	図説　日本史通覧（帝国書院）　ゼミナール日本史（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・原始・古代から中世までを通して学習します。
・過去を学ぶのは、現在の諸課題に取り組むヒントにしたり未来を展望したりするためであることを意識して取り組んでください。
・ただ暗記をするのではなく、歴史的事象に対して「なぜ」という理由を考えながら学習することが重要です。その考察の中で史料を読み取り、歴史の流れをとらえることが必要になります。
・日本の歴史はさまざまな地域との交流のなかで展開してきたため、日本の歴史だけでなく、諸地域の歴史にも目を向けて学習しましょう。

2　学習の到達目標

我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	我が国の歴史の展開に関する関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする。	我が国の歴史の展開から課題を見いだし、国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察し我が国の文化と伝統の特色についての認識を深め、国際社会の変化を踏まえ公正に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	我が国の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	我が国の歴史の展開についての基本的な事柄を、国際環境と関連付けて総合的に理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	班活動 発表 レポート	定期考査 レポート グループディスカッション	定期考査 レポート	定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期　中間考査まで	日本文化のあけぼの	1. 文化のはじまり 2. 農耕社会の成立 3. 古墳とヤマト政権 人類文化の発生を考えて日本列島における旧石器・縄文文化の社会を理解する。	○	 ○ ○	○ ○ ○	 ○	a:日本の原始から古代社会に形成に関心を持ち意欲的に追究し関心を高めようとしている。 b:地域に残る遺跡から狩猟採集社会から農耕社会の成立について考察するとともに、その過程や特徴を適切に表現している。 c:中国史書を中心に大陸との関係について必要な情報を収集し選択して、読み取ったりまとめたりしている。 d:食糧生産によって貧富の差が拡大したことを理解し、その知識を身につけている。また大陸との交流と関連づけながら日本の国家形成を理解し、その知識を身につけている。	定期考査 レポート 小テスト
1学期　期末考査まで	律令国家の形成	1. 飛鳥の朝廷 2. 律令国家への道 3. 平城京の時代 4. 天平文化 5. 平安王朝の形成	 ○ ○ ○	○ ○ ○ 	○ ○ ○	 ○ ○	a:古代国家としての奈良や京都、奈良時代やその文化に関心を持ち、意欲的に追究しようとしている。 b:奈良時代における律令体制が東アジアの動向と関連して成立したことを考察するとともに、その過程や結果を適切に表現している。 c:古代国家確立に関する史料や系図を読み、そこから歴史的事実や社会のようすを読み取り、図表などにまとめたりしている。 d:大宝律令に基づく統治組織・官僚制・土地と民衆の把握・税制について理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 レポート グループディスカッション 小テスト

2学期　中間考査まで	貴族政治と国風文化	1. 摂関政治 2. 国風文化 3. 地方政治の展開と武士	 ○ 	○ ○	○ ○ 	○ ○	a:王朝貴族による政治や文化や武士の発生について、意欲的に考察し、歴史への関心を高めようとしている。 b:国司の支配の変容と公領の変質、荘園の発達を踏まえて地方支配の状況を考察できたか。 c:文献資料を活用して、外戚関係による藤原北家の台頭や平安時代の文化について読み取っている。 d:王朝貴族による政治や文化、武士の発生についてについて地理的条件や大陸の動きと関連付けながら理解し、その知識を身につけている。	定期考査 グループディスカッション 小テスト
2学期　期末考査まで	中世社会の成立	1. 院政と平氏の台頭 2. 鎌倉幕府の成立 3. 武士の社会 4. 蒙古襲来と幕府の衰退 5鎌倉文化	 ○ ○	○ ○ 	 ○ ○ ○	○ ○ ○ 	a:武士の出現や武士の生活や鎌倉時代の出来事、文化に関心を持ち、意欲的に追究しようとしている。 b:武士の出現や武家政権の成立、その特色と関連付けながら考察し適切に表現している。また蒙古襲来の政治・経済・文化への影響と、幕府の衰退を関連づけながら考察している。 C:中世社会の成立に関する諸資料を収集し、歴史的事実や社会のようすを読み取ったりできる。鎌倉時代の寺社や仏像をみてその社会や文化の特徴を読み取ることができる。 d:武士が土地の所領関係で結びついていること、幕府の成立過程や封建制度の成立過程を理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 班活動 小テスト

3学期	武家社会の成長	1. 室町幕府の成立 2. 幕府の衰退と庶民の台頭 3. 室町文化 4. 戦国大名の登場	 ○ ○ 	○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○	a:室町幕府による政治や文化を意欲的に考察し、歴史への関心を高めようとしている。 b: 惣村の形成や土一揆の発生など庶民による自治的な組織の成立に着目して、応仁の乱に代表される幕府の動揺や衰退を考察している。 南北朝の内乱、室町時代、戦国時代のそれぞれの時代について出来事や文化に着目しながら考察し、適切に表現している。 c:室町時代の建造物や美術品を通して、西欧文化の影響や庶民の台頭を読み取ることができる。また戦国大名や堺など都市の発展を踏まえて、諸国の自治に戦国期の日本の多様性を読み取ることができる。 d: 南北朝の動乱や、室町幕府と東アジアの関係、守護大名の時代から下克上を経て戦国大名が出現してくること、村の自治がしだいに成長していることを理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 班活動 小テスト

(備考) 3年生の日本史Bと合わせて4単位履修。